

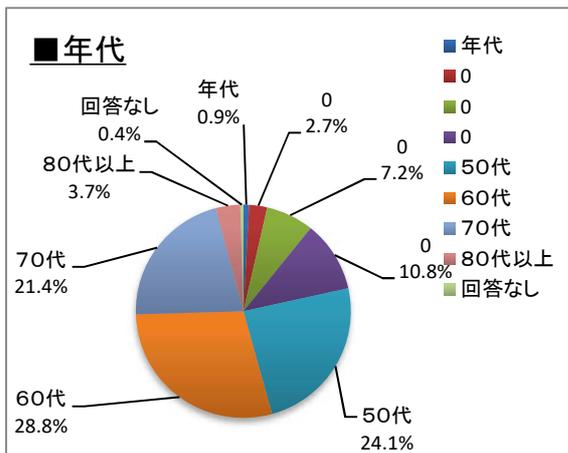
令和4年度にいがた市民大学 アンケート結果まとめ

1 全講座の満足度

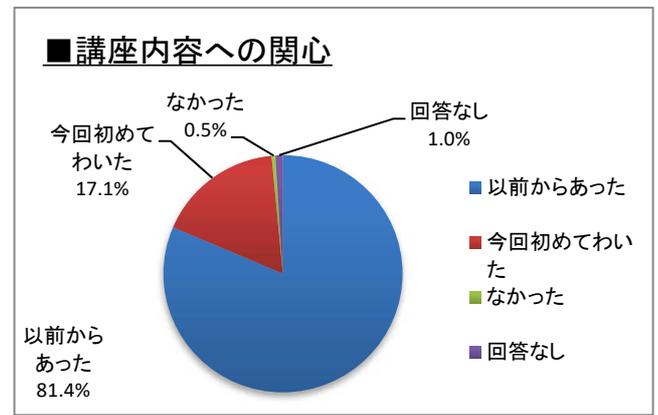
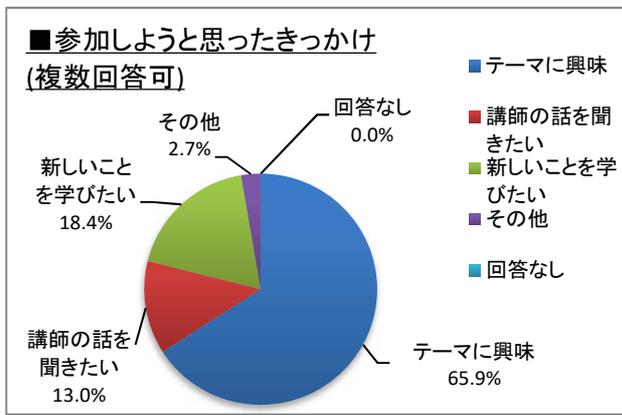
講座名		曜日等	受講者数	アンケート協力者数	回収率	満足・やや満足
前期	地域で始まる「孤立」から「支え合い」へ	水・夜間	43	21	48.8%	85.8%
	日本の文化と季節の行事	火・夜間	94	54	57.4%	75.9%
	佐渡島(さど)の金山～世界に誇る文化遺産の価値を学ぶ～	土・午後	61	38	62.3%	89.5%
	睡眠の科学～心安らぐ眠りを求めて～	木・夜間	60	41	68.3%	85.4%
	暮らしに役立つ工学の最先端【コンソーシアム連携講座】	土・午後	41	23	56.1%	69.6%
	脱炭素社会に向けて～温室効果ガス削減とその取り組み～	土・午前	23	16	69.6%	87.6%
後期	日本の文化と季節の行事	火・夜間	20	17	85.0%	94.1%
	佐渡島(さど)の金山～世界に誇る文化遺産の価値を学ぶ～	土・午後	13	10	76.9%	80.0%
夏休み	親子で学ぶ「作って触って謎解き!日本の美術作品(児童)」	土・午前	12	12	100.0%	100%
	親子で学ぶ「作って触って謎解き!日本の美術作品(保護者)」		12	12	100.0%	100%
特別	まちの変革者に聞く～新潟市で新たなビジネススタイルのまちづくり～	土・午前	23	15	65.2%	94.1%
	まちあるきガイドが紹介する『イザベラ・バードと新潟の旅』	土・午後	81	54	66.7%	94.4%
計			483	313		

- ・新潟の歴史に関する講座は受講者数が多く、満足度が高い。(佐渡島／イザベラバード)
→→ 多くの受講者が見込めるテーマである。
- ・夏休み親子特別講座(体験型)は、満足度が高い。
→→ 継続実施が望ましい。
- ・受講者数と満足度は必ずしも比例しない。(日本の文化／脱炭素社会／まちの変革者)
→→ 受講者の多い講座が望ましいが、受講者が少なくても学びを深める分野の講座も必要。

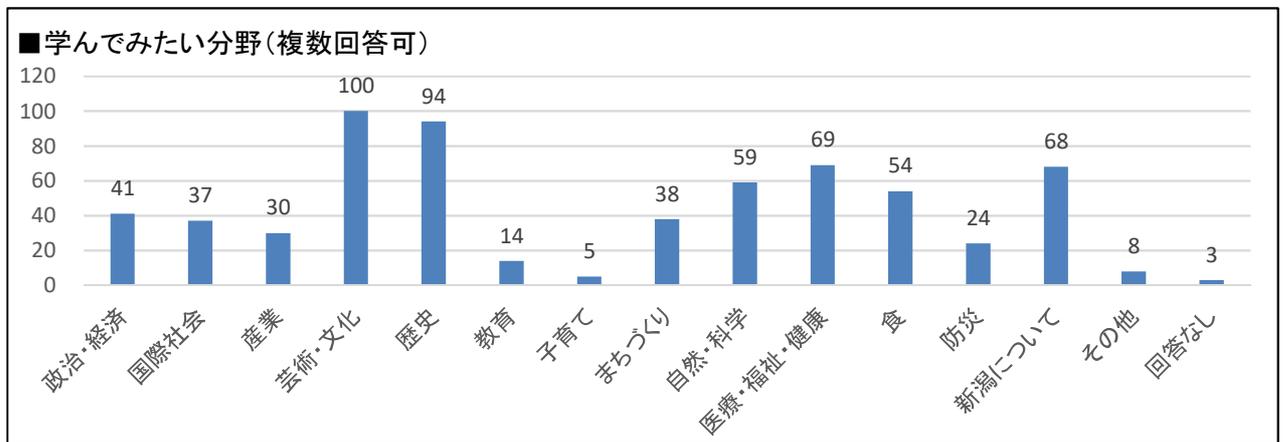
2.前期講座まとめ



- ・20代～50代の割合が、前年度27.8%から38.9%に11ポイントアップ。
- ・特に50代の受講者割合が14.9%から27.0%と12ポイントアップ。
- 講座別では、「睡眠の科学(木・夜間)」は39.0%、「佐渡島の金山(土・午後)」は28.9%と、ともに最も多い年代となっている。
- アプローチの仕方(テーマ・講座実施体制)により、受講者世代の若返りにつながる。

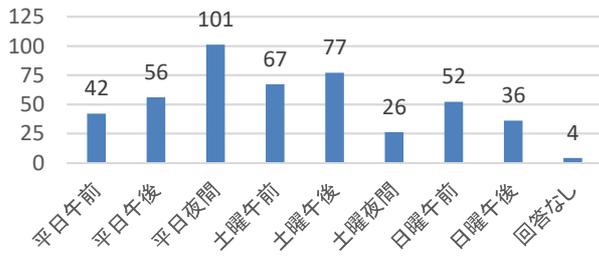


・「参加のきっかけ」、「注目する点」は、前年度と同じく「テーマに興味」がトップ。
 ・「講座内容への関心」は、81.4%が「以前から興味があった」と回答。
 →→ テーマ設定が受講者増のカギ



・「学んでみたい分野」は、過去と同様に「芸術・文化」、「歴史」、「医療・福祉・健康」、「新潟について」が上位。
 ・学んでみたい内容(自由記載から抜粋)
 <現代の社会問題>
 貧困問題／子育て支援・発達障害・医療ケア児対応／これからの経済(資産運用など)／少子高齢化時代の地域活性化／空き家対策 ほか
 <人間理解>
 湊町の成り立ちと文化／地域特性と歴史の関係性／日本の文化・伝統工芸／日中戦争から終戦まで／陶芸・絵画史／芸能(演劇・歌舞伎・祭り事)／音楽(クラシック・民族楽器・新潟の地唄)／現代美術／マンガ文化／動物福祉／定年後の生き方 ほか
 <新潟学>
 新潟が誇れるもの／新潟の偉人／歴史・文化と食の繋がり／産業の歴史と課題／企業・生産者・飲食店の話／自然保護の取り組み・市民活動／交通網の再編・空港との連絡／人口動態 ほか
 <生命・自然科学>
 予防医学／がん治療・対策／介護・認知症予防／未来のエネルギー／最新のAI／地震災害の範囲・二次被害／生物多様性／昆虫食 ほか

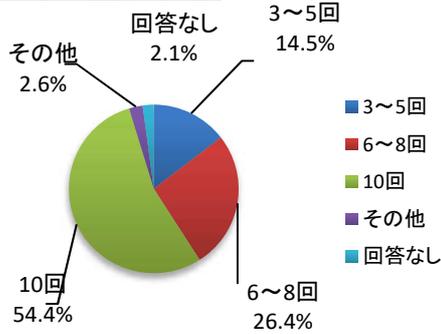
■受講しやすい時間帯(複数回答可)



<時間帯>

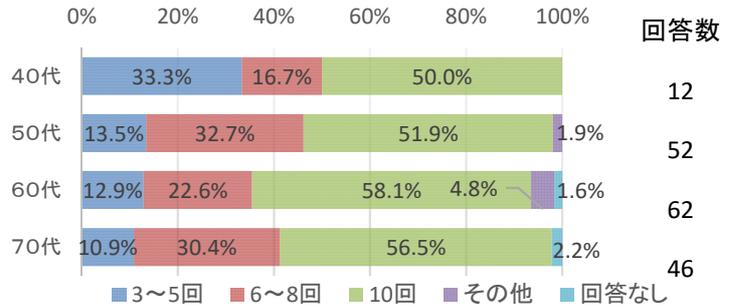
・前年度は「土曜午後」が最も高く、次いで「平日夜間」であったが、今年度は逆転した。
 ・一方で、アンケートでは「帰りに時間がかかるので、夜間でなく昼間が良い」という意見もある。

■希望講座回数



■年代ごとの希望回数

※30代以下および80代以上は回答数が10以下のため表示省略

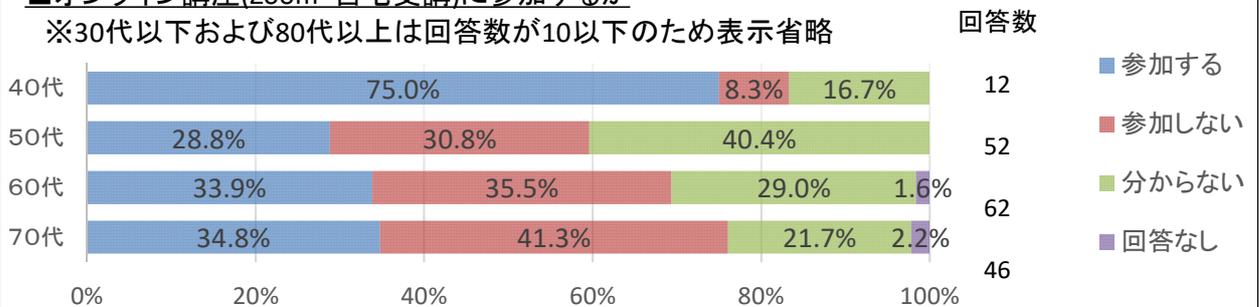


<希望回数>

- ・前年度同様に「10回」が最も多いが、65.8%から54.4%に11ポイントダウン。
- ・一方、「3~5回」は9ポイント、「6~8回」は5ポイントアップ。
 →→ 短期講座の方が受講しやすいと感じる受講者が増えている。
- ・年代別では、年代が上がるにつれて希望講座回数が多い傾向がある。

■オンライン講座(Zoom・自宅受講)に参加するか

※30代以下および80代以上は回答数が10以下のため表示省略



- ・60代以上でも3割が「Zoomに参加する」と回答。
 →→ 世代に関わらず、オンライン方式での受講が浸透しつつある。
- ・一方で、70代では4割が「参加しない」と回答。
 また、年齢が上がるにつれ、「参加しない」と回答した率が上昇。
 →→ 高齢者世代では、対面での受講希望が根強くある。

●自由意見

<する>

- ・会場に移動しなくていい／場所を選ばない
- ・夜間に出かけるのが不安／移動が負担
- ・時間を有効に使える
- ・手軽に参加できる

<しない>

- ・パソコン・インターネット環境がない
- ・集中できない／真面目に聞かない
- ・面倒／煩わしい／年齢的に難しい
- ・会場で見たい／他の参加者と交流したい

<わからない>

- ・テーマ・内容による
- ・一方的な講義ではなく、双方参加型がよい
- ・環境が整えば／いずれはやってみたいが

2 ハイブリッド形式・見逃し配信まとめ(特別講座「イザベラ・バード」)

受講状況

	対面	オンライン
受講申込者数(人)	60	21
出席率(3回合計)	79.4%	60.3%

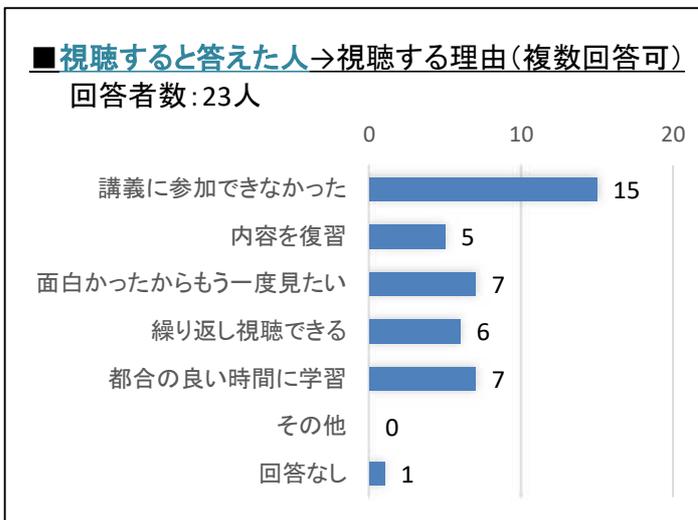
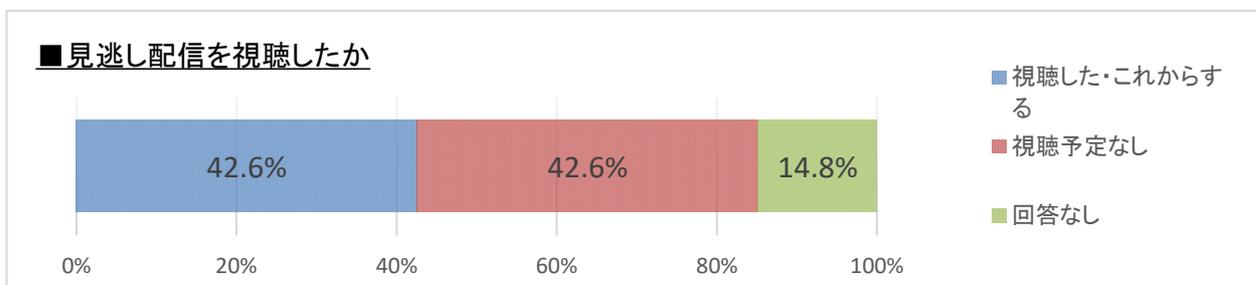
・オンライン受講者の受講率が低め
→→ 見逃し配信の視聴で受講した可能性あり。

見逃し配信視聴回数(配信方法:YouTube(新潟シティチャンネル)の限定公開)

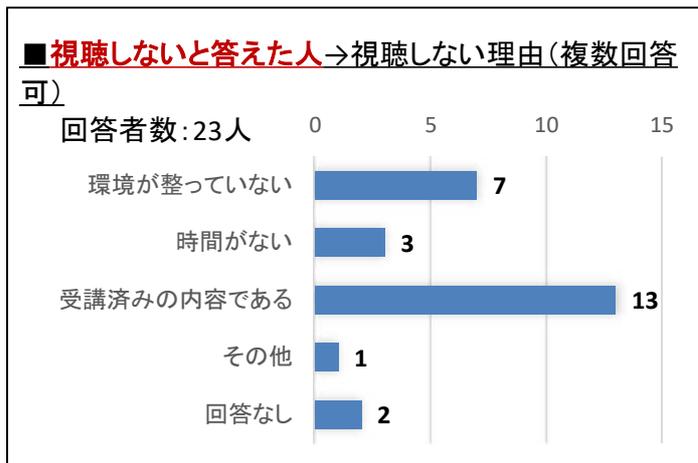
	公開期間	視聴回数	平均視聴時間
第1回(2/4)	2/8~3/13	65	24分
第2回(2/18)	2/22~3/24	55	28分
第3回(2/25)	3/1~4/3	36	27分

・再生回数が集中しているのは、公開直後と公開終了間際の土日
・視聴時間:平均23分
・最後まで視聴した人:20%
→→ 都合の良い時間に視聴できる「見逃し配信」の特性が活用されている。

アンケート結果(回答数:54人)



・「リアルタイムで受講できなかった」が最も多い。
→→ 「見逃し配信」が多様な受講機会の提供に寄与。
・「繰り返し視聴」、「もう一度見たい」、「内容を復習」など、「繰り返し見て学びたい」というニーズがそれぞれ25%を超える。
→→ 学びの深まりに寄与。



・回答者23人のうち7人が「視聴環境が整っていない」と回答。
→→ オンラインで受講できない受講生のため、対面での講座も必要。